

平成17年度 町政執行方針

幌延町長 宮 本 明



はじめに

幌延町議会議員の皆さん
幌延町民の皆さん

平成17年第1回幌延町議会定例会の開会にあたり、町政執行の所信を申し上げます。

昨年は、日本各地で豪雨や台風による災害が多発し、新潟県中越地震では甚大な被害を受けました。今なお困難な生活を余儀なくされている方々に対して、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く安心した生活ができるようご祈念申し上げます。

幌延町も台風18号の暴風により被害を受けたところであり、この教訓を生かし、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

私が、町長という重責を担わせていただいたから2年が過ぎ、任期の後半にかかりました。顧みますと、日本経済の複合的な構造要因による停滞の中、地域経済や地方財政そして住民生活に大きな不安を抱えての船出でした。

ここで今一度、初心に帰って、基本テーマの『町民主体のまちづくり』の理念と、基本姿勢として掲げた『お年寄りの知恵と、若者の活力、女性の視点を取り入れて、元気の幌延町づくり』を胸に刻み町政の推進に当たることとお約束します。

今、日本経済は、構造改革の取り組みの着実な成果のもと、長きにわたった低迷を脱し、民間需要中心に回復が続いているといわれています。しかし、北海道及び過疎

地域や中小企業には、依然として厳しい環境が続いております。

幌延町においても、経済の活性化や景気対策に積極的に取り組み、経済・産業を着実な成長軌道に乗せていくことが求められております。

町の財政は、地方交付税制度の改革を含む、いわゆる「三位一体改革」で厳しい状況が続いております。国と地方の厳しい財政状況、地方分権の推進など、地方行政の困難な課題を解消する方策として「市町村合併」が推進されており、私は、『合併するか、しないか』の判断を求められておりました。

私は、昨年6月、西天北4町の任意合併協議会の解散を受けて、町の将来については、『幌延町は単独・自立で行く』ことを決断・表明しました。私は、自主・自律を自覚した町民が主役となって、